

コメント

1. インフルエンザ

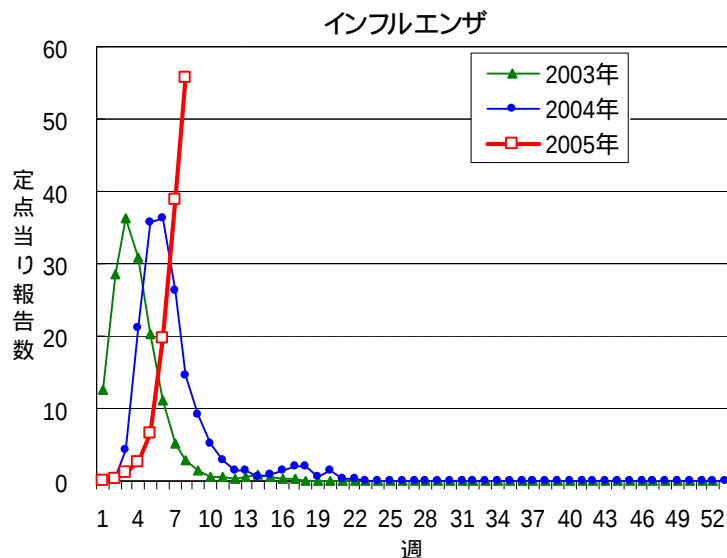
定点当り55.8人と増加しており、1週間の報告数としては1998年第6週(定点当り67.8人)以来の多い報告数となっています。すべての区で、国立感染症研究所が定めた警報レベル(定点当り30人)を超えています。

2. 感染性胃腸炎

定点当り9.42人とほぼ横ばいとなっています。安芸区16.0人、東区13.3人、中区、佐伯区ともに10.7人、西区10.0人となっています。

3. 流行性耳下腺炎

定点当り1.54人とやや減少しています。安芸区では6.5人と特に多く、中区3.7人となっています。



5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 (注1) 過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 (注1) 過去5年間	発生記号
インフルエンザ(注2)	2066	55.84	14.14	▲	麻疹(注3)	-	-	0.02	□
咽頭結膜熱	8	0.33	0.21	□	流行性耳下腺炎	37	1.54	0.62	▲
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	1.21	1.19	□	RSウイルス感染症	5	0.21	0.03	□
感染性胃腸炎	226	9.42	14.05	▲	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	□
水痘	24	1.00	2.05	□	流行性角結膜炎	9	1.13	0.95	□
手足口病	4	0.17	0.08	□	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	□
伝染性紅斑	3	0.13	0.20	□	無菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	□
突発性発疹	11	0.46	0.82	□	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.31	□
百日咳	-	-	0.03	□	クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	□
風疹	1	0.04	0.07	□	成人麻疹	-	-	-	□
ヘルパンギーナ	3	0.13	0.06	□					

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1)過去5年間の同時期平均(定点当り)
(注2)高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3)成人麻疹を除く
(注4)オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

報告はありません。

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

		インフル (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	第4週	99	4	30	471	72	6	2	14	-	-	-	32	4	-	8	-	1	-	-
		第5週	245	2	27	348	46	5	3	17	-	-	-	36	2	1	10	-	2	-	-
		第6週	728	4	20	318	42	7	4	26	-	-	-	31	1	-	7	-	1	-	-
		第7週	1,441	3	33	242	31	4	3	11	-	1	-	44	1	-	6	-	3	-	-
定点 当り	広島市	第8週	2,066	8	29	226	24	4	3	11	-	1	3	37	5	-	9	-	1	-	-
		第4週	2.68	0.17	1.25	19.63	3.00	0.25	0.08	0.58	-	-	-	1.33	0.17	-	1.00	-	0.14	-	-
		第5週	6.62	0.08	1.13	14.50	1.92	0.21	0.13	0.71	-	-	-	1.50	0.08	0.13	1.25	-	0.29	-	-
		第6週	19.68	0.17	0.83	13.25	1.75	0.29	0.17	1.08	-	-	-	1.29	0.04	-	0.88	-	0.14	-	-
全国		第7週	38.95	0.13	1.38	10.08	1.29	0.17	0.13	0.46	-	0.04	-	1.83	0.04	-	0.75	-	0.43	-	-
		第8週	55.84	0.33	1.21	9.42	1.00	0.17	0.13	0.46	-	0.04	0.13	1.54	0.21	-	1.13	-	0.14	-	-
		第6週	29.73	0.18	1.49	7.72	1.98	0.18	0.20	0.59	-	-	0.04	0.01	0.80	0.02	0.62	-	0.03	0.19	0.02
		第7週	40.79	0.19	1.39	7.70	1.95	0.18	0.22	0.56	-	0.01	0.03	-	0.98	0.02	0.71	0.01	0.01	0.26	0.01

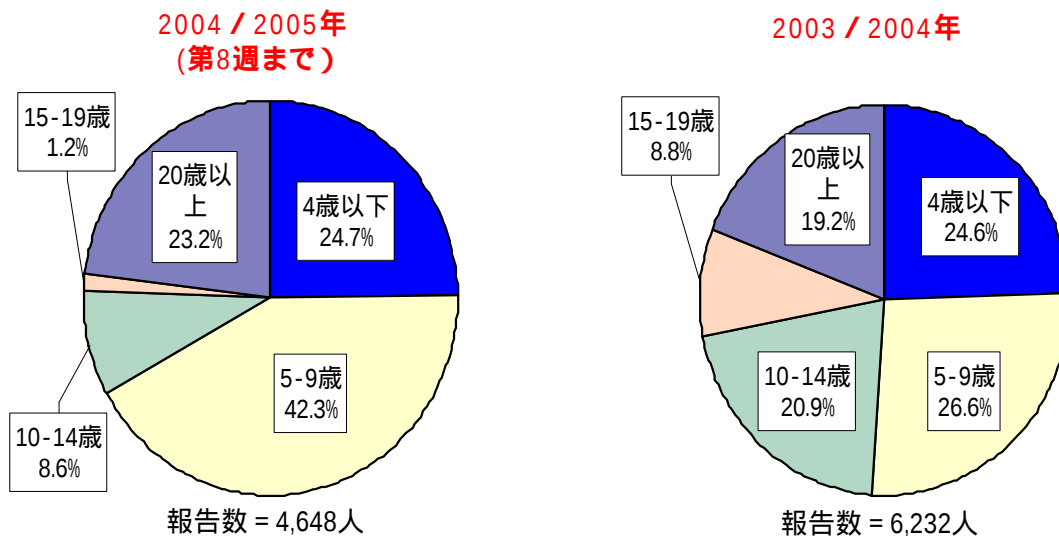
(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	10	女	2005/01/20	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	69	女	2005/01/22	糞便	ノロウイルスG2群

【参考】広島市におけるインフルエンザの年齢階層別報告数

広島市における今シーズンのインフルエンザの年齢階層別報告数は、昨シーズンと比べるとこれまでのところ、5～9歳の年齢層が多く、10～14歳及び15～19歳の年齢層が少ない傾向にあります。



本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第8週 (2月21日～2月27日)